

2012年2月期 第2四半期決算説明会

イオンデイライト株式会社

代表取締役社長 梅本 和典

2011年10月6日



目次

§ 1 2012年2月期 第2四半期累計実績

§ 2 中期経営計画の進捗と今後の展開

§ 3 2012年2月期 通期の見通し

§ 4 参考資料

§1 2012年2月期 第2四半期累計実績



業績について

～中期経営計画の達成に向けて好調なスタート～

売上高 59.6%増、増収増益で過去最高益を達成

単位:百万円

	2012年2月期 第2四半期累計				
	実績数値	売上比 (%)	前年同期比 (%)	前年差	公表比 (%)
売上高	109,950	100.0	159.6	41,065	105.7
営業利益	6,915	6.3	137.7	1,894	100.2
経常利益	6,974	6.3	138.0	1,921	101.1
四半期純利益	3,716	3.4	134.1	945	100.4

セグメント別売上高

建設施工事業が前年同期比**171.7%**

単位:百万円

	2012年2月期 第2四半期累計		2011年2月期 第2四半期累計		前年 同期比 (%)	注1)前年 同規模比 (%)
	実績数値	売上比 (%)	前年実績	売上比 (%)		
設備管理事業	21,292	19.4	20,669	30.0	103.0	98.9
清掃事業	19,835	18.0	21,260	30.9	93.3	98.4
警備事業	16,199	14.7	16,225	23.6	99.8	100.1
建設施工事業	13,970	12.7	8,136	11.8	171.7	152.3
資材関連事業	18,416	16.7	—	—	—	99.2
自動販売機事業	16,572	15.1	—	—	—	95.0
サポート事業	3,639	3.3	2,562	3.7	142.0	107.9

※2010年9月の経営統合以降に、設備、清掃、警備、サポートで計上されていた資材実績を資材関連事業に振り分けております。

注1:前年同規模比:エイ・ジー・サービス(株)と(株)カジタクの実績を除き、チエルト(株)の2011年2月期 第2四半期累計期間の実績を含め比較したもの

5

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



(要約)連結貸借対照表

連結貸借対照表

単位:百万円

	2011年 8月31日現在	2011年 2月28日現在	増減額		2011年 8月31日現在	2011年 2月28日現在	増減額
流動資産	69,410	64,524	4,886	流動負債	33,570	30,724	2,845
固定資産	20,882	20,100	781	固定負債	985	1,012	▲27
有形固定資産	3,832	3,756	75	負債合計	34,555	31,737	2,818
無形固定資産	12,795	11,577	1,218	純資産合計	55,737	52,887	2,849
投資等	4,254	4,766	▲511	負債・純資産合計	90,292	84,624	5,668
資産合計	90,292	84,624	5,668				

M & A2社が連結貸借対照表へ及ぼした影響

資産 2,122百万円増加

負債 1,558百万円増加

純資産 564百万円増加

※エイ・ジー・サービス(株)は2011年2月28日残高、(株)カジタクは2011年3月31日残高の貸借対照表の数値を合算

6

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



(要約)連結キャッシュフロー計算書

連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

単位:百万円

	2012年2月期 第2Q累計	2011年2月期 第2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,883	2,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,680	▲2,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,566	▲637
現金及び現金同等物の増減額	▲361	▲1,038
現金及び現金同等物の期首残高	12,317	7,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,956	6,835

営業活動CF

税引前四半期純利益	6,570
減価償却費及び のれん償却費	1,108
売上債権	▲3,262

投資活動CF

関係会社消費寄託金 の寄託と返還	▲300
子会社株式取得によ る支出	▲1,116

財務活動CF

配当金支払	▲1,156
-------	--------

7

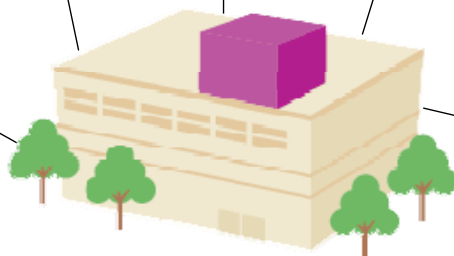


Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight

震災の影響と復興への取り組み

生活インフラの基盤となる商業施設の営業再開に大きく貢献



8



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight

§2 中期経営計画の進捗と今後の展開



中期経営計画の概要

経営資源を集中する3つのマーケット

大都市圏
マーケット

環境負荷低減
マーケット

アジア
マーケット



①大都市圏マーケット 《概要》

人口の都市シフトにあわせ新たなサービスを展開

2010年、首都圏の新規マンション販売、**22.4%増の4.4万戸**

6年ぶりに前年比増

＊（株）不動産経済研究所「全国マンション市場動向」（2011年2月）より

多くの企業が大都市圏を中心とした小型店舗での出店を加速

小型チェーン店の市場規模は、**20兆円規模**

店舗数は**20万店舗以上**

・社日本フランチャイズチェーン協会

・2009年度「JFAフランチャイズチェーン統計調査」報告より



家事代行サービスの市場規模は、**1,200億円（年間成長率8%）**

クリーニングサービスを加えると、**5,700億円規模**

＊ 数値は2010年度。経済産業省、厚生労働省のデータより当社推計



11

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight 

①大都市圏マーケット -エイ・ジー・サービス- 《進捗》

多くの企業が大都市圏を中心とした小型店舗での出店を加速

➢ 2011年5月 小型店舗のトータル管理に強みを持つ

エイ・ジー・サービスを連結子会社化



AEON delight 

小型施設に対するニーズを取り込む体制を強化

➢ 24時間365日運営のコールセンターにより

集積されたお客さまデータをもとに

小型店舗へのサービス拡充を積極的に展開



12

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight 

①大都市圏マーケット ―エイ・ジー・サービス― 《今後の取り組み》



新たなビジネスモデルとして「店舗のトータル管理」を確立

- コールセンターにおいて、事象データとモニタリングデータを結合させることで予兆ノウハウを構築
- 大手電機メーカーとのアライアンスにより、**リモートセンシング**と**リモートコントロール**ができるシステムを確立



13

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.



①大都市圏マーケット ―カジタク― 《進捗》

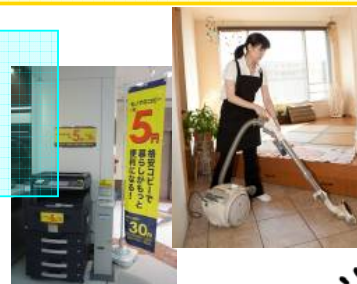
働くひとや暮らすひとのライフスタイルの変化

- 2011年4月 家事支援サービスに強みを持つ**カジタク**を連結子会社化



BtoBtoCを見据えた新たなサービスを展開

- 5円コピー機の設置台数を**約2,000台まで拡大**
- 「家事玄人(カジクラウド)」を全国で**約2,000店舗**
約3万個に拡販



14

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.



①大都市圏マーケットーカジタクー《今後の取り組み》



家事の宅配



AEON delight



“カジタク”ブランドの浸透

- 「家事玄人(カジクラウド)」の導入先店舗での定番商品化
⇒ 2012年3月までに年間販売個数を10万個に
- WEBで預けた商品が見えるマイページ機能を構築
⇒ 顧客情報をデータベース化し、CRM(Customer Relationship Management)を実現



15



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



②環境負荷低減マーケット 《概要》

産業廃棄物などを除く、当社がターゲットとする

省エネ・新エネの環境ビジネス市場

現状 4兆円



要因：・環境ニーズの拡大
・LEDの急拡大
・技術革新

2020年 8兆円

※近畿経済産業局「関西における新環境ビジネス推進戦略」(2008年3月)のデータより当社推計。

イオングループ企業での実績を武器に、
グループ外での受託拡大を目指す

16



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



②環境負荷低減マーケット 《進捗》

お客さまの積極的な環境投資にお応えし、**省エネ工事が伸長**



例)商業施設における提案事例



導入前



導入後

蛍光灯が2灯から1灯に変更
消費電力を約50%削減

17

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



②環境負荷低減マーケット 《今後の取り組み》

	取り組み
下期	・省エネ資機材メーカーとアライアンスを組み、営業拡大 ・LED照明をグループ内外へ拡販 グループ外では、24時間点灯のホテル、店舗などへ
来期	・店舗の基本照明や立体駐車場のLED化を提案 ・お客さまの初期投資を負担し、 省エネ実績から報酬を受け取るESCO事業のモデルを構築
中・長期	・イオンディライトスマートビルディング構想をビジネスモデル化 スポット契約 ⇒ トータル管理で 年間契約にシフト

18

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



③アジアマーケット 《概要》

小売市場をターゲットとする

アジア(中国・アセアン)における 総合FMS市場

現状 8兆円

2020年 20兆円

要因: ・人口増による小売
マーケットの拡大
・商業の近代化と
店舗施設の増加

※大型商業施設の売上高に占める総合FMS事業の売上高構成比(実績)を基に、
その割合で小売市場規模から総合FMS市場規模を推計。

アジアマーケットを中心に、
お客さまの環境価値を高める総合FMSを提供することで、
世界トップクラスのカンパニーを目指す

19

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



③アジアマーケット 《進捗》

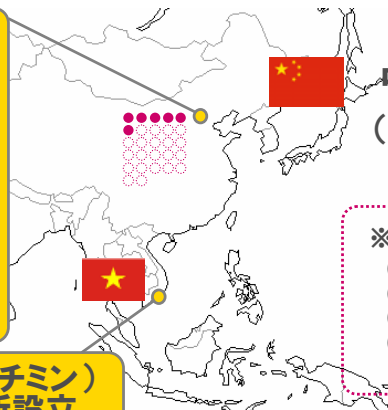
上期
取り
組み

- ・「ジャスコ東莞第一国際店」「広州太陽城店」サービス開始(4月)
- ・ ベトナムのホーチミンに駐在員事務所を設立(5月)
- ・ 国営スーパーマーケット「北京鑫海韵通(ペキンシンハイユイントン)商業
大楼復興店」サービス開始(6月)
- ・ 中国における総合FMSを加速させるため、永旺永楽(北京)物業管理
有限公司を 永旺永楽(北京)物業服务有限公司に社名変更し、事業領域
を拡大(8月)

アジア
展開
状況



ベトナム(ホーチミン)
駐在員事務所設立



中国でのサービス提供 7店舗
(北京市3、天津市1、広東省3)

※ご参考—イオン既存店数

(中国)	GMS 24	SM 3
(香港)	GMS 5	SM 5
(タイ)	GMS 13	
(マレーシア)	GMS 23	SM 4

(2011年2月末現在)

20

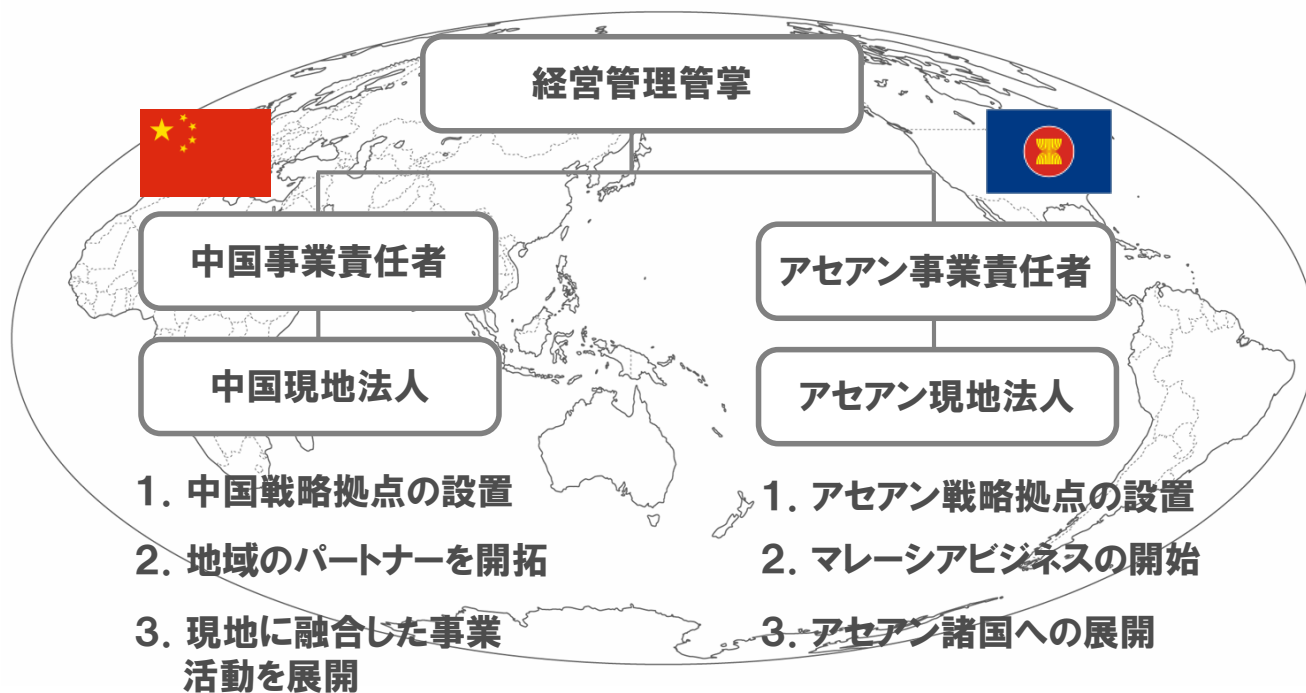
Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



③アジアマーケット 《今後の取り組み》

2011年9月…アジア戦略を実行するエリア別統括体制を新設(戦略と執行体制の構築)



21

※中国事業責任者…北京市に駐在、アセアン事業責任者…クアラルンプールに駐在

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



総合FMSへの取り組み 《新規契約先》

多種多様なお客さまへ総合FMSを提供



シオノギ創薬イノベーションセンター



大津赤十字病院



スマイルホテル



東急ハンズ(心斎橋店)



熊谷駅ビルアズ



日本郵政本社ビル

22

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



総合FMSへの取り組み 《進捗》

総合FMSモデルの構築

➤ GMS店舗の総合FMSモデルを構築

・40種類のサービスメニューを組立・提案

一例)

レンタルカゴ



その他

インフォメーション

植栽管理

ゴミ庫管理

カート整理

レンタルマット

観葉植物

etc

・全国10支社10店舗でモデル店舗を選定、サービス提供を開始

営業体制の確立

➤ コンサルティング営業を進めるための営業マン育成計画を検討

23



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight 

総合FMSへの取り組み 《今後の取り組み》

総合FMSモデルの構築

➤ GMS店舗の総合FMSモデルを構築

・サービスメニューを開発・提案

⇒ 40種類から2倍以上となる80種類を超えるサービスメニューに拡充

・下期以降、モデル店舗での実績を全国の各センターへ水平展開

営業体制の確立

＜コンサル営業の進め方＞



24



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight 

《進捗》

- TV会議システムの活用による旅費交通費の削減、ペーパーレス化による事務用消耗品費の削減などを実施

前年同規模比で販管費比率を**0.2ポイント改善**

《今後の取り組み》

ITによる効率化

- 下期より業務効率化に向けたBPR(Business Process Reengineering)を推進
9月よりプロジェクトチームを作り、今期中の成果を目指す

§3 2012年2月期 通期の見通し

2012年2月期 通期業績見通し

単位:百万円

	2012年2月期通期予想			2011年2月期実績		参考
	金 額	売上比 (%)	前期比 (%)	金 額 (実績)	売上比 (%)	
売上高	213,000	100.0	124.6	170,905	100.0	100.0
営業利益	14,300	6.7	118.8	12,031	7.0	6.6
経常利益	14,300	6.7	118.3	12,089	7.1	6.7
当期純利益	7,600	3.6	117.0	6,495	3.8	3.5

注2:2011年2月期同規模売上比:当社の2011年2月期実績に、チェルト(株)の2011年2月期第2四半期累計期間の実績を含めた数値
27

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

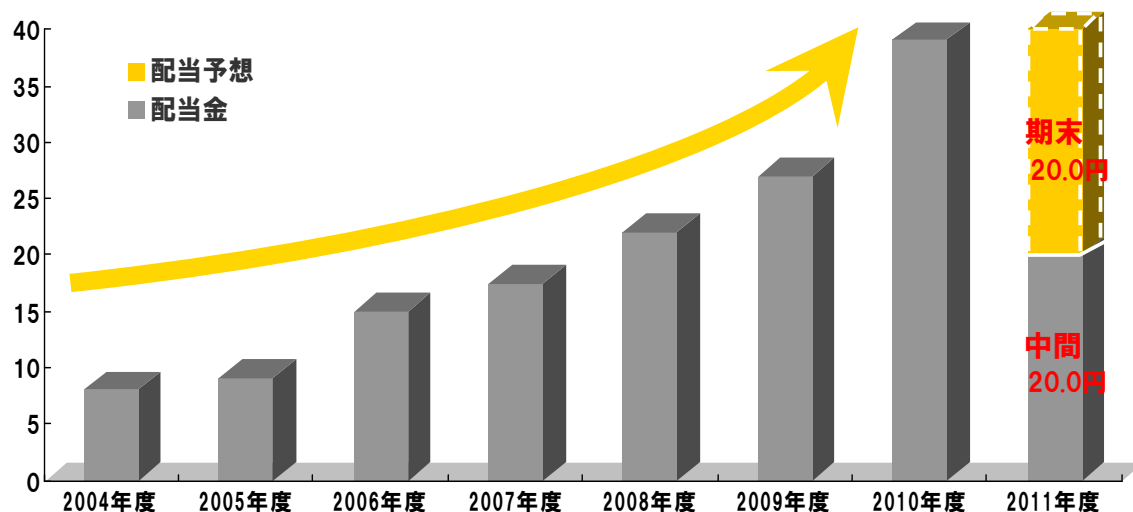
AEON delight



株主還元について

2005年度以降7期連続の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度 予想
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと

仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。

Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.

AEON delight



§4 参考資料

29

損益推移

単位:百万円

	2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度	
	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)
売上高	56,153	86.0	55,749	99.3	54,665	98.1	62,323	114.0	111,170	178.4
営業利益	2,116	54.1	1,686	79.7	2,504	148.5	2,949	117.8	5,576	189.0
経常利益	2,110	53.6	1,697	80.5	2,511	147.9	2,953	117.6	5,485	185.7
当期純利益	1,132	—	148	13.1	860	580.6	1,324	153.8	2,998	226.4

単位:百万円

	2007年度		2008年度		2009年度		2010年度		2011年度2Q	
	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)
売上高	137,519	123.7	145,690	105.9	140,299	96.3	170,905	121.8	109,950	159.6
営業利益	8,330	149.4	9,946	119.4	9,970	100.2	12,031	120.7	6,915	137.7
経常利益	8,186	149.2	9,812	119.9	9,912	101.0	12,089	122.0	6,974	138.0
当期純利益	4,379	146.1	4,876	111.3	5,466	112.1	6,495	118.8	3,716	134.1

※2002年度～2010年度は通期実績、2011年度は第2四半期累計期間の実績

大株主の状況および所有者区分(比率)

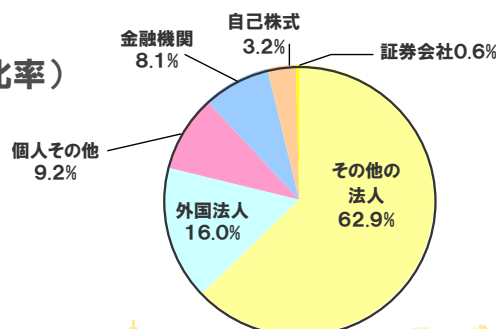
大株主の状況

所有比率は発行済株式に対する比率です。

順位	株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
1	イオンリテール株式会社	23,261	42.94
2	イオン株式会社	9,103	16.81
3	ジェービー モルガン チェース バンク 385174	2,549	4.71
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	985	1.82
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	934	1.73
6	イオンディライト従業員持株会	673	1.24
7	メロン バンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	640	1.18
8	イオンディライト取引先持株会	564	1.04
9	ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカン クライアント	482	0.89
10	ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック ファンド	475	0.88

データは2011年8月31日現在

所有者区分(比率)



31



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.



経営指標

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度 第2四半期
EPS(一株当り当期純利益)	122.92円	※ 137.79円	142.56円	半期)70.86円
ROE(自己資本当期純利益率)	19.89%	18.91%	15.47%	半期) 6.89%
ROA(総資産当期純利益率)	10.11%	11.19%	9.75%	半期) 4.25%
売上高経常利益率	6.74%	7.06%	7.07%	6.34%
売上高純利益率	3.35%	3.90%	3.80%	3.38%
総資本回転率	3.02回	2.87回	2.56回	半期) 1.26回
自己資本比率	54.15%	64.22%	62.32%	61.05%
1株当たり純資産	669.28円	※ 787.84円	1,005.62円	1051.07円
PER(株価収益率)	10.29倍	8.83倍	10.57倍	半期)22.86倍
PBR(純資産倍率)	1.89倍	1.54倍	1.50倍	1.54倍
(ご参考)期末株価	1,266円	1,216円	1,507円	1,620円

※印は株式分割後の指標で表示しております。

32



Copyright ©2011 AEON delight Co., Ltd. All Rights Reserved.



**本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。
ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。**

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇全て連結を対象として記載
- ◇記載金額は百万円未満を切り捨て
- ◇比率は小数点第2位を四捨五入

**イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)**

IR担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高 橋(タカハシ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2011年10月6日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。